

執筆者紹介（執筆順、*は編者）

*白鳥 浩（しらとり・ひろし） はしがき、序章、第1章、第3章

編著者紹介欄参照。

丹羽 功（にわ・いさお） 第2章

1966年 愛知県生まれ。

1997年 京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。修士（政治学）。

現在 近畿大学法学部教授。

著作 『ポリティカル・サイエンス入門』共著、法律文化社、2020年。

黒木美來（くろき・みらい） 第3章

1987年 神奈川県生まれ。

2012年 早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。修士（政治学）。

現在 駿河台大学法学部助教、早稲田大学大学院政治学研究科博士課程研究生。

著作 「1948年5月ハーグ会議に向けた「民間」の欧州統合構想——政治・経済・文化の側面から描くヨーロッパ統合の全体像」『地方政治研究・地域政治研究』第4巻1号、2018年。

「欧州統合をめぐるイギリス労働党と欧州統合運動団体の対立——1948年5月ハーグ会議への参加問題を事例として」『早稲田政治公法研究』第119号、2021年。

山本健太郎（やまもと・けんたろう） 第4章

1978年 兵庫県生まれ。

2009年 東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士（学術）。

現在 北海学園大学法学部教授。

著作 『政党間移動と政党システム——日本における「政界再編」の研究』木鐸社、2010年。

『政界再編——離合集散の30年から何を学ぶか』中公新書、2021年。

出水 薫（いずみ・かおる） 第5章

1964年 福岡県生まれ。

1999年 九州大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（法学）。

現在 九州大学大学院法学研究院教授。

著作 『先進社会の政治学——デモクラシーとガバナンスの地平』共編著、法律文化社、2006年。

「伊方原発再稼働への同意をめぐる自治体政治過程の事例分析」『法政研究』第87巻第1号、2020年。

久保慶明（くぼ・よしあき） 第6章

1983年 栃木県生まれ。

2011年 筑波大学大学院人文社会科学研究所博士課程修了。博士（政治学）。

現在 関西学院大学総合政策学部教授。

著作 『政治変動期の圧力団体』共著，有斐閣，2016年。

『現代日本のエリートの平等観——社会的格差と政治権力』共著，明石書店，2021年。

芦立秀朗（あしたて・ひであき） 第7章

1974年 宮城県生まれ。

2009年 ピッツバーグ大学政治学部大学院博士課程修了。Ph. D. in Political Science.

現在 京都産業大学法学部教授。

著作 「援助行政への参加と政策への支持の関係——JGSS-2006データから」『産大法学』第48巻第1・2号，2015年。

『現代日本の公務員人事』共著，第一法規，2019年。

後 房雄（うしろ・ふさお） 第8章

1954年 富山県生まれ。

1982年 名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。

現在 愛知大学地域政策学部教授，名古屋大学名誉教授。

著作 『政権交代への軌跡——小選挙区制型民主主義と政党戦略』花伝社，2009年。

『地方自治における政治の復権——政治学的地方自治論』北大路書房，2022年。

堤 英敬（つつみ・ひでのり） 第9章

1972年 大阪府生まれ。

1999年 慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程退学。修士（法学）。

現在 香川大学法学部教授。

著作 『統治の条件——民主党に見る政権運営と党内統治』共編著，千倉書房，2015年。

「候補者リクルートメントの変容と政党組織——候補者のプロフィール・政策的立場・議会行動」『法学研究』第93巻1号，2020年。

森 道哉（もり・みちや） 第9章

1974年 香川県生まれ。

2003年 立命館大学大学院政策科学研究科博士課程後期課程修了。博士（政策科学）。

現在 立命館大学政策科学部教授。

著作 「中央地方関係のなかの政令指定都市京都——文献レビュー」佐藤満編『京都市政治の分析』慈学社、2020年。

「浪費とその時代——Siniawer, Eiko Maruko. (2018). *Waste: Consuming Postwar Japan*. Cornell University Press. を読む」『政策科学』第28巻3号、2021年。

河村和徳（かわむら・かずのり） 第10章、第11章

1971年 静岡県生まれ。

1998年 慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。

現在 東北大学大学院情報科学研究科准教授。

著作 『現代日本の地方選挙と住民意識』慶應義塾大学出版会、2008年。

『電子投票と日本の選挙ガバナンス——デジタル社会の投票権保障』慶應義塾大学出版会、2021年。

竹田香織（たけだ・かおり） 第11章

1981年 富山県生まれ。

2015年 東北大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学。修士（法学）。

現在 福島学院大学短期大学部保育学科講師。

著作 『衆参ねじれ選挙の政治学——政権交代下の二〇一〇年参院選』共著、ミネルヴァ書房、2011年。

「医療系学士課程における『チーム医療実習』の実施と教育効果」共著、『保健医療福祉連携』第14巻2号、2021年。

伊藤裕顕（いとう・ひろあき） 第12章

1960年 岩手県生まれ。

2012年 東北大学大学院情報科学研究科博士課程前期修了。修士（情報科学）。

現在 富士大学経済学部非常勤講師。

著作 『二〇一四年衆院選 「一強多弱」の完成——野党はなぜ勝てないのか』共著、ミネルヴァ書房、2021年。

『東日本大震災からの復興過程と住民意識——民主制下における復旧・復興の課題』共著、木鐸社、2021年。

善教将大（ぜんきょう・まさひろ） 第13章

1982年 広島県生まれ。

2011年 立命館大学大学院政策科学研究科博士課程後期課程修了。博士（政策科学）。

現在 関西学院大学法学部教授。

著作 『維新支持の分析——ポピュリズムか、有権者の合理性か』有斐閣，2018年（2019年サントリー学芸賞受賞）。

『大阪の選択——なぜ都構想は再び否決されたのか』有斐閣，2021年。

岡田 浩（おかだ・ひろし） 第14章

1968年 兵庫県生まれ。

1994年 早稲田大学大学院政治学研究科博士課程中退。

現在 金沢大学人間社会学域法学類教授。

著作 『よくわかる政治過程論』共編著，ミネルヴァ書房，2018年。

『現代日本の政治——政治過程の理論と実際』共編著，ミネルヴァ書房，2009年。

岡本哲和（おかもと・てつかず） 第15章

1960年 大阪府生まれ。

1989年 関西大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得後退学。博士（法学）。

現在 関西大学政策創造学部教授。

著作 『日本のネット選挙——黎明期から18歳選挙権時代まで』法律文化社，2017年（2018年日本公共政策学会作品賞受賞）。

『アメリカ連邦政府における情報資源管理政策——その様態と変容』関西大学出版部，2003年。

《編著者紹介》

白鳥 浩（しらとり・ひろし）

1968年 東京都生まれ。

2005年 早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。博士（政治学）。日本政治法律学会理事長。

現 在 法政大学大学院政策科学研究科教授。

著 作 『市民・選挙・政党・国家——シュタイン・ロッカンの政治理論』東海大学出版会，2002年。

『都市対地方の日本政治——現代政治の構造変動』芦書房，2009年。

『政権交代選挙の政治学——地方から変わる日本政治』編著，ミネルヴァ書房，2010年。

『二〇一四年衆院選 「一強多弱」の完成——野党はなぜ勝てないのか』編著，ミネルヴァ書房，2021年。